

シグマ研究委員会 JENDL 積分テスト W.G.

1981 年度 第 3 回 会 合 議 事 録

日 時 1981 年 11 月 13 日 13:30 ~ 17:30
場 所 原研本部 第 7 会議室
出 席 者 菊池, 石黒, 吉田, 高野, 長谷川(原研), 飯島, 亀井(NAIG),
関(MAPI), 金城, 白方(PNC), 大竹(富士電機),
松延(住原工), 山本, 宝珠山(FBEC), 竹田(阪大)

配布資料

1. JENA-50 : Kikuchi et al. : Benchmark Tests on JENDL-2B,
JAERI-memo 9707
2. JENA-51 : Hasegawa : Memo for JENDL Integral check W.G.
3. JENA-52 : 高野 : JFS-3-J2 と JENDL-2B-70 の相違
4. JENA-53 : 竹田 : 一般化摂動理論による感度解析コード
5. JENA-54 : 白方, 山本 : 第 2 回 JUPITER 解析会議報告(骨子)

議 事

1. 一般化摂動による感度解析コード
 - JENA-53 により竹田氏より説明
 - Stacy の理論による。2D-6G で ZPPR-9 を解析する。
 - 主な議論
 - 6G で十分か → 自由にとれるが, output 量を考慮して決めた。
 - Output の graphical routine が必要
 - direct calc との比較が必要
 - ZPPR-9 の利用は, PNC は OK する。米国には事後承諾でよい。
 - 感度解析は修正までしなくては意味がない。

2. JFS-3-J2とJENDL-2B-70の差

- JENA-52に基づき高野氏より説明
- 主な差 : Dopplerはremo補正14% f-table内挿~8%, Naボイドは3%, C/R worthで3%

3. 今後のベンチマークテストの進め方

- 二次元モデルの開発
 - 高野氏がかなりやっている
 - コードは長谷川氏が担当
 - 入力作りは皆で協力して行う
- 標準ライブラリーとしてはJFS-3-J2にもっていくべきである。

4. JUPITER解析会議

- JENA-54に基づき山本, 白方両氏より説明
- JENDL-2Bの問題点としては
 - Naボイドの正のoverestimate
 - $\sigma_c^{28} / \sigma_f^{49}$ のoverestimate
- B-IV, B-Vの比較ではB-Vでkeffが1%大きくなった。